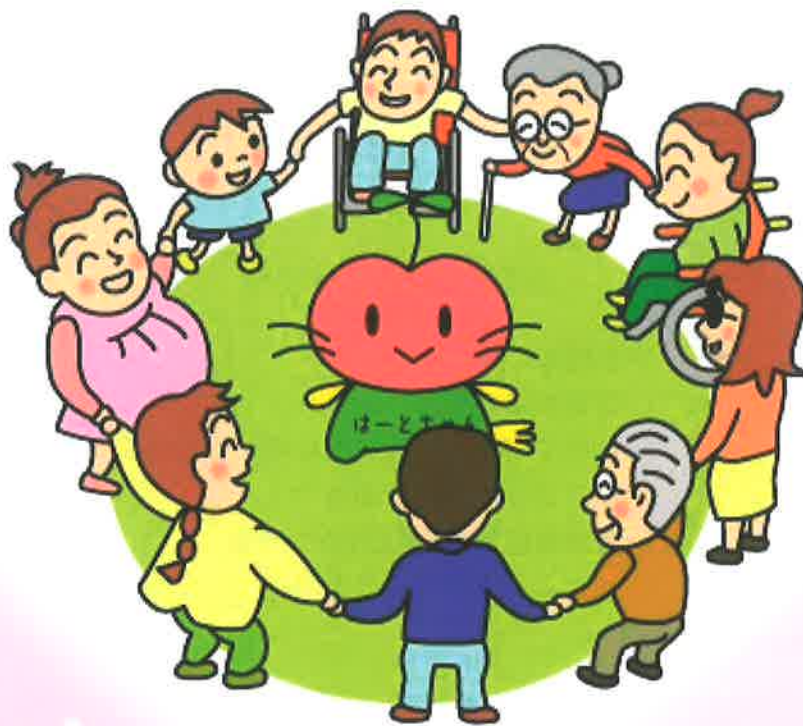


「みんながしあわせ」 と感じられる地域づくり

地区社会福祉協議会活動の手引き



みんな
で
架
け
よ
う
幸
福
の
橋



「みんなで進める地域福祉」イメージ

わたしたちの願い

住み慣れた地域で、誰もが「安心して」「健康で」「幸せ」に暮らしたい!



だから・・・「地域福祉」

わたしたちすべての住民が、地域で安心して暮らせるように、
行政が制度面で基本的な役割を果たすと共に、
地域内の諸団体やボランティア等が
独自の取り組みを行い、
連携してきめ細かく支える
地域づくり。

いま地域には・・・

- 心やさしい人がいる
- 素敵な知恵を持った人がいる
- キラリと光る技をもった「匠」がいる
- 貴重な経験を持った人がいる
- ピカピカの生き甲斐を持った人がいる

いま地域に・・・

- 一人暮らしの高齢者がいる
- 虐待を受けている幼児がいる
- 体の不自由な人がいる
- 生き甲斐を見失った人がいる

いま地域には・・・

- ゴミや空き缶がいっぱい
- 幼児や子どもには危険な場所がある
- 歩きづらい道路がある
- 豊かな自然が失われつつある

誰もが「尊重」され、「安心」して暮らせるまちを目指し

すべての地域住民が一緒になって

みんなで考え!みんなで支え合い!みんなで解決する!

地域の「しくみ」をつくりましょう!

住んでいる地域

となり近所で・・・

- ・見守り、声かけ活動
- ・話し相手
- ・家事支援
- ・緊急連絡、対応

学校で・・・

- ・ふれあい交流活動
- ・地域行事への協力

何もなかった昔には、今ではうらやましい
ほどに、心豊かな地域での暮らしがあったという。

物が豊になった現代ならなおのこと。

みんなで知恵を出し合えば・・・
みんなで力を出し合えば・・・

さらに住みよい地域ができるはず!!

施設や病院と・・・

- ・施設の開放
- ・情報や技術の提供

所属している団体で

- ・ふれあい交流活動
- ・見守りネットワーク活動
- ・相談援助
- ・環境美化活動
- ・防犯活動
- ・防災活動

地区社会福祉協議会

企業と一緒に・・・

- ・施設の開放
- ・情報や技術の提供

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現に向けて」

(1) 身近な地区で起こる生活課題



「一人暮らしで、病気があったらと思うと、不安で…」

生活への不安



「最近、子育てで悩んでいるんです…」



活動の担い手が高齢化して。今後、どうやって続けて行こうか」

活動上の不安



「身近なところで何か活動したいんだけど…」



「子どもを狙った犯罪が増えているようで…子どもの登下校が心配だわ」

まちに対する不安



「大きな災害があった時のことを考えると、みんなと声を掛け合う関係が必要。でも、どうすればいいのかなあ」

(2) 支え合いの仕組みづくりをしましょう

戸別訪問活動
地域の方が定期的にお宅を訪問する活動です。

近所のお宅がオレオレ詐欺にあいそうになった。

見守り・声かけ活動
地域の皆さんで見守りや声かけをする活動です。

あのおじいさんのお家、新聞がたまっている。



困ったことは近所力で解決!

家事援助活動
近くの住民がちょっとしたお手伝いをする活動です。

足腰が弱って買い物に行けない。

今、地域全体で支え合い、助け合うため、人と地域が“つながる仕組み”として、地域福祉を推進する組織である地区社会福祉協議会が必要となっています。

ふれあいサロン活動
地域の方が気軽に集まり交流できる場です。

最近、人と話していないなあ。

交流行事
地域の支えあいの第一歩は、みんなが顔見知りになることです。

地域の人と知り合いたい。

地区社会福祉協議会の位置づけ

地区社会福祉協議会の組織

地域には、子どもから高齢者まで様々な人たちが生活しています。そこで起こる福祉問題も様々です。それゆえに、あらゆる問題に対応するための地域性を踏まえた、幅広い範囲からの参加協力により地区社会福祉協議会組織を構成する必要があります。

《組織づくりのポイント》

地域には、町内会・自治会等の住民組織の他に、福祉団体、各種グループ等の活動団体、そして、福祉、教育、保健、医療等の専門機関があり、また、個人で活動をされている方もいます。

地区を構成する方々と一緒に力を合わせて、さまざまな困りごとの解決に向けて取り組むことで、地区住民の安心が広がります。

- ①地域住民全体に支えられた、総意が結集できる幅広い住民組織によって構成されること。
- ②福祉、保健、医療等の専門機関や、教育等の関連領域関係者の参加協力を得ること。
- ③高齢者や障がい者等ハンディキャップをもつ当事者の参加と、それを支えるボランティアの参加を促進すること。



地区社会福祉協議会の活動

地域の福祉課題を解決するための活動として、以下のものがあります。

☆高齢者のために

- ふれあいサロンの開催
- 見守り・訪問活動
- 居場所づくり
- 外出企画（1日バス旅行）

☆子どものために

- 子育てサロンの開催
- 子育て相談
- あいさつ・声かけ活動
- 福祉体験学習

☆交流企画

- 小学生による高齢者宅の訪問活動
- 高齢者と子どもの交流会
(クリスマス会・食事会・
輪投げ・農業体験
グラウンドゴルフ・もちつき・
昔の遊び等)

☆広報・研修

- 広報紙(ふくしだより)の発行
- チラシ配布・ポスター掲示
- 地域福祉、ボランティア等に関する講演会
- 先進的な活動をする団体の視察研修
- ボランティア養成講座や活動者の研修会

☆みんなで

- 地域住民による福祉懇談会
- 住民アンケート
(住民福祉意識調査、福祉課題調査、
ボランティア希望調査等)
- 介護者のつどい
- 障害者の外出支援・交流会
- 福祉マップの作成
- 福祉まつりの開催

★地域の福祉課題は、地域によって様々であり、解決方法も様々です。
みんなで福祉課題に気づき、みんなで話し合い、
みんなで取り組んでいきましょう!

地区社会福祉協議会 Q & A

Q 市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の関係は

A 地区社会福祉協議会は地域住民の自主的な組織（※法律で規定されていない任意団体）ですから、地区社会福祉協議会は市社会福祉協議会の下部組織ではありません。

市社会福祉協議会(全市的な視野に立った事業活動の展開)

地区社会福祉協議会(小学校区単位以下を区域とした地地域住民による地域福祉活動の展開)

Q 地区社会福祉協議会と自治会の関係は

A 自治会はその性格上、地域において一番力の大きい団体であり地域の情報の伝達や収集に大きな力を発揮します。ゆえに、地区社会福祉協議会が地域できめ細かい福祉活動を行っていくには、自治会と緊密な関係を保っていくことが不可欠であり、よきパートナーとしていっそうの連携を図っていく必要があります。

Q 地区社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会の関係は

A 民生委員児童委員は、地域での福祉に関する相談・支援のキーパーソンであり、行政と住民をつなげているパイプ役です。地域での福祉活動の情報に一番精通し理解をしている民生委員児童委員は、地区社会福祉協議会が地域福祉活動を推進していく際に欠かす事の出来ないメンバーであり、地区社会福祉協議会においてその専門性を発揮しつつ、各構成、メンバーと同等なパートナーとして活動していくことが強く期待されています。

支え合いの仕組みづくりを島田市社会福祉協議会がお手伝いします

島田市社会福祉協議会は、人と人とを結び、地域の絆を強くする地区社会福祉協議会活動のお手伝いを、地域のみなさんといっしょになって進めます。

- 補助金の交付(育成補助・運営補助)
- 職員派遣
- 小地域福祉活動に関する資料・講師紹介
- 学習会・研修会の提案
- 他機関・団体等との連絡調整

編集・発行

○社会福祉法人島田市社会福祉協議会
〒427-0042 静岡県島田中央町5番の1
TEL0547-35-6244 FAX0547-34-3261
E-mail fureai@shimada-shakyo.jp